

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月2日

上場会社名 株式会社A.Cホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 1783 URL http://www.ac-holdings.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 壮  
 問合せ先責任者(役職名) 経理事務連絡担当 (氏名) 平林 友伸 (TEL) 03-5473-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,327	△23.0	△77	—	△186	—	△216	—
25年9月期第2四半期	1,723	17.1	△107	—	△98	—	△25	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 △211百万円( —%) 25年9月期第2四半期 18百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	△5.35	—
25年9月期第2四半期	△0.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	8,772	7,148	81.4
25年9月期	8,353	7,359	88.1

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 7,148百万円 25年9月期 7,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,843	△9.8	△157	—	△249	—	△280	—	△6.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 創進国際投資有限公司、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	42,442,851株	25年9月期	42,442,851株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	2,000,770株	25年9月期	2,000,770株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	40,442,081株	25年9月期2Q	40,442,156株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成26年3月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策（アベノミクス）等による円安・株高が進み、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、欧州を中心とした海外景気の動向や消費税引き上げに伴う下振れリスクが存在するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、建設事業においては順調に工事が進捗しましたが、ゴルフ・リゾート事業では天候不順の影響、前連結会計年度に販売用不動産の売却および固定資産（賃貸用不動産他）の譲渡を実施したため、売上高は前年同四半期と比較して3億96百万円減少しましたが、経費削減努力により営業損失は前年同四半期と比較して30百万円減少いたしました。

経常損益に関しましては、持分法による投資損失を1億20百万円計上いたしました。

さらに、純損益につきましては、固定資産売却益4百万円が発生しましたが、ゴルフ場売却に伴う工事費用清算による固定資産除売却損などにより特別損失30百万円が発生するなど、四半期純損失の計上となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13億27百万円（前年同四半期売上高17億23百万円）、営業損失77百万円（前年同四半期営業損失1億7百万円）、経常損失1億86百万円（前年同四半期経常損失98百万円）、四半期純損失2億16百万円（前年同四半期純損失25百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

#### ① ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、天候不順の影響および前連結会計年度において福島空港GOLF CLUB、第1四半期連結会計期間において新香木原カントリークラブを売却したため、売上高は減少し、営業損失も増加しております。この結果、売上高5億18百万円（前年同四半期売上高5億57百万円）、営業損失1億66百万円（前年同四半期営業損失1億48百万円）となりました。

#### ② ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、ほぼ予定通りに推移し、売上高4百万円（前年同四半期売上高4百万円）、営業利益5百万円（前年同四半期営業利益18百万円）となりました。

#### ③ 建設事業

建設事業におきましては、順調に工事が進捗し売上高が増え、工事原価率も減少したため営業利益が増加しております。この結果、売上高7億99百万円（前年同四半期売上高6億80百万円）、営業利益82百万円（前年同四半期営業利益8百万円）となりました。

#### ④ リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、前連結会計年度に販売用不動産の売却および固定資産（賃貸用不動産）の譲渡を実施したため、当第2四半期連結累計期間においては売上高が減少しました。この結果、売上高1百万円（前年同四半期売上高4億82百万円）、営業利益0百万円（前年同四半期営業利益12百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億19百万円増加し87億72百万円となりました。

流動資産は5億56百万円増加し49億91百万円、固定資産は1億37百万円減少し37億81百万円となりました。流動資産増加の主な内訳は、商品が1億54百万円増加し販売用不動産が13億87百万円増加した一方で現金及び預金が11億49百万円減少したことによります。

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少6億65百万円、一方で無形固定資産の増加1億42百万円、及び投資その他の資産の増加3億85百万円であります。このうち、有形固定資産減少の主な要因は、新香木原カントリークラブの土地・建物の譲渡により、建物及び構築物並びに土地が減少したことによります。無形固定資産増加の主な要因は、合同会社箱根山松苑の持分の取得によりおのれんが1億45百万円増加したことによります。投資その他の資産増加の主な要因は、持分法による投資損失等により関係会社株式が1億15百万円減少した一方、長期貸付金が4億75百万円増加したことによります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて6億31百万円増加し、16億24百万円となりました。負債増加の主な要因は、短期借入金が4億95百万円増加したことによります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億11百万円減少し、71億48百万円となりました。純資産減少の主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少であります。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24億49百万円減少し、15億70百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は3億67百万円（前年同四半期は2億44百万円の増加）となりました。主な要因は、増加要因として持分法投資損益の計上額1億20百万円、減少要因として税金等調整前四半期純損失2億13百万円、たな卸資産の増加額1億53百万円、売上債権の増加額1億14百万円等があったことによります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は20億81百万円（前年同四半期は9億9百万円の増加）となりました。主な要因は、増加要因として有形固定資産の売却による収入6億59百万円、減少要因として定期預金の預入による支出13億円、連結子会社出資持分の取得による支出3億63百万円、買収に伴う債権買取による支出9億71百万円等があったことによります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加又は減少はありませんでした。（前年同四半期もありませんでした。）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新香木原カントリークラブの土地・建物の譲渡により特別損失21百万円が発生したこと、及び当社の関係会社（株式会社東京衡機）の平成26年2月期決算に基づき、持分法による投資損失が1億20百万円発生したため、平成26年5月30日付にて公表いたしております。

## 1. 平成26年9月期第2四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成26年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想	1,318	△137	△121	△130	△3円21銭
今回発表予想	1,327	△77	△186	△216	△5円34銭
増減額	9	60	△65	△86	—
増減率(%)	0.68	—	—	—	—
(ご参考) 平成25年9月期 第2四半期累計期間実績	1,723	△107	△98	△25	△0円63銭

## 2. 平成26年9月期通期（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	2,835	△217	△184	△193	△4円80銭
今回発表予想	2,843	△157	△249	△280	△6円92銭
増減額	8	60	△65	△87	—
増減率(%)	0.28	—	—	—	—
(ご参考) 平成24年9月期実績	3,143	△143	△154	△69	△1円72銭

(注) 今回の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績につきましては、これらの予想数値と異なる場合があります。なお、詳細は平成26年5月30日公表の「持分法による投資損失（連結）の発生及び平成26年9月期第2四半期累計期間（連結・個別）、通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年1月29日付けで、ゴルフ・リゾート事業に関するインバウンド事業及び中国・東南アジア圏のリアルエステート市場調査と不動産投資事業を行う目的で、新たに中国・香港に連結子会社(Soushin International Co., Ltd. (創進国際投資有限公司))を設立しました。また、平成26年2月19日付けで優良な販売用不動産を所有する不動産投資会社である合同会社箱根山松苑の社員持分の99%を取得し、連結子会社化いたしました。なお同社は、その後、平成26年3月31日付けで社員持分の1%を追加取得し、完全子会社となっております。

なお特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において完全子会社しましたので、連結の範囲に含めております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,020,164	2,870,453
受取手形・完成工事未収入金等	291,886	407,370
リース投資資産(純額)	51,396	52,828
商品	11,717	165,829
原材料及び貯蔵品	11,622	12,591
販売用不動産	19,194	1,406,756
未収入金	16,272	55,157
その他	29,800	37,605
貸倒引当金	△17,435	△17,219
流動資産合計	4,434,620	4,991,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	537,691	438,297
機械装置及び運搬具(純額)	46,895	39,243
工具、器具及び備品(純額)	9,966	8,422
土地	2,351,327	1,794,075
建設仮勘定	9,240	10,000
有形固定資産合計	2,955,120	2,290,038
無形固定資産		
のれん	—	145,864
その他	10,425	7,470
無形固定資産合計	10,425	153,335
投資その他の資産		
投資有価証券	1,123	1,123
関係会社株式	761,945	646,390
長期貸付金	297,750	772,825
長期未収入金	28,024	27,294
その他	164,919	187,638
貸倒引当金	△300,658	△297,095
投資その他の資産合計	953,103	1,338,176
固定資産合計	3,918,648	3,781,550
資産合計	8,353,270	8,772,924



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	261,306	290,027
短期借入金	—	495,000
未払法人税等	12,213	2,623
未払消費税等	20,288	14,719
賞与引当金	1,953	4,396
ポイント引当金	21,137	20,289
繰延税金負債	—	129,399
その他	226,024	222,398
流動負債合計	542,923	1,178,854
固定負債		
退職給付引当金	122,419	127,716
役員退職慰労引当金	25,715	17,733
資産除去債務	2,036	2,048
その他	300,246	298,296
固定負債合計	450,417	445,794
負債合計	993,341	1,624,648
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	4,577,779	4,577,779
利益剰余金	△154,730	△371,227
自己株式	△604,079	△604,079
株主資本合計	7,318,968	7,102,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53	△51
為替換算調整勘定	41,014	45,855
その他の包括利益累計額合計	40,960	45,804
純資産合計	7,359,928	7,148,276
負債純資産合計	8,353,270	8,772,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,723,506	1,327,190
売上原価	1,122,878	703,735
売上総利益	600,628	623,455
販売費及び一般管理費	708,092	700,511
営業損失(△)	△107,463	△77,056
営業外収益		
受取利息	3,878	3,050
受取給付金	1,924	1,829
投資不動産賃貸料	9,756	—
雑収入	10,943	9,573
営業外収益合計	26,503	14,453
営業外費用		
持分法による投資損失	233	120,398
投資不動産賃貸費用	10,274	—
その他	6,840	3,835
営業外費用合計	17,349	124,233
経常損失(△)	△98,310	△186,836
特別利益		
固定資産売却益	100,012	4,484
特別利益合計	100,012	4,484
特別損失		
投資有価証券売却損	23,261	—
固定資産除売却損	0	21,669
工事補償金	—	9,000
その他	1,004	—
特別損失合計	24,265	30,669
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,563	△213,020
法人税等	2,963	3,475
四半期純損失(△)	△25,526	△216,496

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
四半期純損失(△)	△25,526	△216,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,025	—
持分法適用会社に対する持分相当額	21,671	4,844
その他の包括利益合計	43,696	4,844
四半期包括利益	18,169	△211,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,169	△211,652

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,563	△213,020
減価償却費	30,142	30,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,698	△3,778
その他の引当金の増減額(△は減少)	△38,258	△1,090
受取利息及び受取配当金	△3,878	△3,050
持分法による投資損益(△は益)	233	120,398
固定資産売却損益(△は益)	△100,012	16,480
投資有価証券売却損益(△は益)	23,261	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,004	—
リース投資資産の増減額(△は増加)	2,295	△1,431
売上債権の増減額(△は増加)	102,035	△114,754
たな卸資産の増減額(△は増加)	448,359	△153,243
未収入金の増減額(△は増加)	△17,405	△32,214
未収消費税等の増減額(△は減少)	—	△748
仕入債務の増減額(△は減少)	△129,339	28,720
未成工事受入金の増減額(△は減少)	—	1,519
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,874	△7,342
前受収益の増減額(△は減少)	—	1,621
その他	△40,751	△33,194
小計	247,299	△364,333
利息及び配当金の受取額	3,878	3,050
法人税等の支払額	△7,145	△6,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,032	△367,730
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	810,914	659,253
有形固定資産の取得による支出	△13,267	△39,744
投資有価証券の売却による収入	86,419	—
無形固定資産の売却による収入	—	1,251
定期預金の預入による支出	—	△1,300,000
連結の範囲の変更を伴う子会社出資持分の取得による支出	—	△363,576
買収に伴う債権買取による支出	—	△971,071
貸付による支出	—	△68,159
貸付金の回収による収入	21,470	22,980
その他	3,505	△22,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	909,042	△2,081,980
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,153,074	△2,449,711
現金及び現金同等物の期首残高	2,625,187	4,020,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,778,261	1,570,453

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	557,527	2,771	680,596	482,611	1,723,506	—	1,723,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,531	—	—	1,531	△1,531	—
計	557,527	4,302	680,596	482,611	1,725,038	△1,531	1,723,506
セグメント利益又は 損失(△)	△148,156	18,828	8,874	12,536	△107,916	452	△107,463

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	518,334	1,772	799,901	1,882	5,300	1,327,190	—	1,327,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,257	—	—	—	2,257	△2,257	—
計	518,334	4,030	799,901	1,882	5,300	1,329,448	△2,257	1,327,190
セグメント利益又は 損失(△)	△166,035	5,237	82,303	676	299	△77,518	462	△77,056

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、合同会社箱根山松苑の出資持分を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、リアルエステート事業において2,042,101千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

「リアルエステート事業」セグメントにおいて、販売用不動産を保有する不動産保有ビークルである合同会社箱根山松苑を取得いたしました。当社の市場調査により、同社の資産に超過収益力が見込まれた為、同社純資産を上回る金額での取得に合意いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、145,864千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。